

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(引佐南部中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

職場体験や、地域の方とのつながりを通じて、キャリア教育を充実するために、より良い意見交換や支援を具体的に進め、学校からの問題提起を踏まえて、ともに話し合いを深める。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 授業参観、体育大会の参観、合唱コンクール、学年主任の説明、生徒との話し合いなどでより理解を深めることができた。
- 校長による基本方針の説明を基に、2024年度の引佐南部中学キーワード“つなぐ”について理解を深めることができた。また教頭による紙媒体資料は、これらの理解を更に深めるものであり、生徒を支える職員集団としての責任が伺えた。
- 校長より説明を受け、更に学年主任に参加してもらい、生徒の姿や成果、課題等を伝えていただいた事で理解が深まった。先生方の子供に対する熱い思いが聞けてとても良かった。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学力向上のための授業改善やキャリア教育の推進について、現場で活躍する教師の意見と、運営委員の意見を忖度することなく交わすことができた。
- キャリア体験について、コーディネーター、学年主任を中心に一歩進めることができた。引佐地区の職場に多く参加していただけるように協議会で支援できることは早い時期から取り組んでいけると良い。
- 学校評価アンケートや、職場体験などにおける課題、それに対する解決策を共有し、議論することができた。各担当の先生方も会議に出席したことで、学校側の要望や現状把握ができた。
- 語り部及び生徒とのディスカッション等今までに無い活動を通じて、地域への理解を深め熟議が進められたのではないと思う。委員にも改めて目標、役割分担が明確になった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 日本人家庭には情報がしっかりと届き理解を得ていると思うが、国籍の異なる家庭に関しては理解を得られているのか定かではない。
- 情報発信については、今後更に熟議を深めたい。
- 単位自治会及び自治会連合会、小中の学校運営協議会の中で情報発信はしているが、それ以上というところという場があるのか考えていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 学校目標の具現化をそれぞれの生徒の成長の姿として確認していきたい。
- 生徒と話し合いをする機会をもっと増やし、学校・家庭・地域とのつながりとなっていけたらと思う。
- 学校・家庭・地域の役割分担の明確化していく。
- 「子供は地域で育てる」ために、この協議会の内容を周知し、地域の声を取り入れながら、地域と学校が一体となって生徒達のために頑張っていけるような雰囲気を作りたい。
- 部活動のクラブ化・地域移行に関して情報を共有し、理解を深めたい。